

本大学院は、すでに就職している社会人を主な対象に、高度な職業人として次のキャリアパスを創造することを主眼にしている。

具体的な支援体制としては、研究科長、大学院事務室、論文ゼミ担当教員による個別指導と、院生同士、外部講師、同窓会などとのネットワークづくりによる自主的な機会開発の場の提供を行っている。

この結果、修了時点においては、各企業から招聘した教員やビジネス界の経験者である 50 人の教員とのネットワーク、院生同士のネットワーク等人的ネットワークが深まり、ビジネス上の選択肢が、広がっている。

そして、修了後も、本研究科の支援する大学院同窓会という組織に繋がっている。